

1 たり

基本形	たり
活用の型	ラ変型
未然形	たら
連用形	たり
終止形	たり
連体形	たる
已然形	たれ
命令形	たれ

【解答】 (1)、(2)は左の活用表を参照。

(3) **咲いている**

<古文> かきつばたいとおもしろく咲きたり
 <現代文> かきつばたがたいそう趣深く咲いている

【主な意味と用法】

- ・ 存続
「～している」
- ・ 完了
「～た」

寄りて見るに筒の中光りたり
 (近寄って見ると筒の中が光っている)

まさしく見たりと言ふ人もなし
 (本当に見たと言う人もいない)

2 けむ

基本形	けむ
活用の型	四段型
未然形	○
連用形	○
終止形	けむ
連体形	けむ
已然形	けめ
命令形	○

【解答】 (4)、(5)は左の活用表を参照。

(6) **暮らし辛かったのだろうか**

<古文> 京や住み憂かりけむ、東の方に行きて
 <現代文> 都が暮らし辛かったのだろうか、東国へ行って

【主な意味と用法】

- ・ 過去伝聞
「～したとかいう」
- ・ 過去推量
「～しただろう」
- ・ 過去原因推量
「どうして～たのだろう」
- ・ 過去婉曲
「～したような」

「関吹き越ゆる」と言ひけむ浦波
 (「関を吹き越える」と詠んだとかいう海岸の波)

いかにわびしき心地しけむ
 (どんなにつらい気持ちでしたらうか)

何の心ありて、あすはひの木とつけけむ
 (どういう心情で、「(アスナロを)あすはヒノキ」と名付けたのだろうか)

鄂州にありけむ昔の人も
 (鄂州にいたような昔の人も)



【アプリ版のご紹介】古文・漢文

古文・漢文を学習中の中学生、高校生必見！定期試験とセンター試験に頻出の「古文単語」「古典文法」「漢文」を、完全に無料で学べるアプリが登場！！



【オマケの一題】

古文・漢文

次の白文の、カッコ内の読み方は？ 人「未還」
 (A) かへるべし (B) かへるなり (C) かへらず (D) かへらんや